

三寒四温という言葉の通り、毎日の寒暖差はありますが、暖かい日も増え、季節は春へ移っています。過日の授業参観では、お忙しい中、保護者の皆様にご来校いただきまして、大変ありがとうございました。各学年・学級で、子どもたちの一生懸命学習に取り組む様子を見ていただくことができました。

さて、間もなく年度末を迎え、一年間を振り返り新たな目標をもつ時期となります。まずは、振り返りの中で、頑張ったところ、良いところを見つけて、褒めていただきたいと思います。その上で、今後更に頑張りが見られるといいところを話題にし、子どもたちの意欲を高めていただければと思います。

今年度は、どの学級も、自治的な力を育てるために、話し合い活動に力を入れてきました。学級目標の話し合いや振り返り、行事への取り組み方、ルールメイキングなど、クラスや代表委員会などで意見を交換しました。その結果、話し合い活動に慣れてきて、自分の意見を皆の前で発表する力が少しずつついてきました。

「自分の考えを表現できること」と「相手の話を最後まで聞くこと」と両方の力が必要だと考えています。子どもたちが、自分の考えをもち、相手の考えを尊重しながら、よりよい結果を導きだせるように、子育ての伴走者として保護者や地域の皆様と共に、支えていきたいと思っています。

本年度の多大なるお力添えに心より感謝申し上げます。



2月の活動の様子



2月5日(木)は、第4回学校運営協議会が開かれました。今年度の活動の振り返りを行いました。今年度は、みなとっ子応援団が始動し、家庭科実習や読み聞かせが軌道にのってきました。今後、下校の見守りや学校の環境整備についての課題を共有し、次年度につなげることを話し合いました。



2月17日(火)は、5年生が地域の方をお招きして「戦争の頃の生活」をテーマとした授業を行いました。戦争の頃は、学校の校庭を耕して、畑を作りサツマイモを育てたこと、学徒動員として働き、防空壕を掘ったことなど、その頃の生活について話をしてくださいました。平和について考える貴重な経験になりました。

2月6日(金)は、1年生が、保幼小交流会を開きました。話を聞く姿勢や座り方を教えたり、小学校で勉強する内容を、新入生に教えたりする姿に、1年間の成長を感じました。



2年生の国語で「スーホの白い馬」という教材を学習します。そこに、馬頭琴という楽器が出てきます。その馬頭琴を演奏してくださる方をお招きし、モンゴルの国の話を聞いたり、演奏を聞いたりする機会がありました。子どもたちは、興味深く、話を聞いたり、音色に耳を傾けたりしていました。

マナーアップ集会

集会・運営委員会が中心になって、マナーアップ集会を開きました。テーマはいじめ防止についてです。各クラスで考えた、いじめ防止のスローガンを発表しました。また、生活の中で課題になっていることが、いじめになるかどうかクイズを通して考えました。学校長からは、「いじめの矢と心」について話がありました。「たった一言でも相手を傷つける、たった一言に救われることがある」という話でした。友達と仲良く、学校生活を楽しくするために、相手のことを考えた言動ができるようにしていきたいと思っています。

